

“平和展示コーナー” 新設記念 公開講演会

# 原爆と広島大学～被爆資料からの伝言

広島文理科大学心理学教室に残った被爆ドライバー

利島 保 (広島大学特任教授)



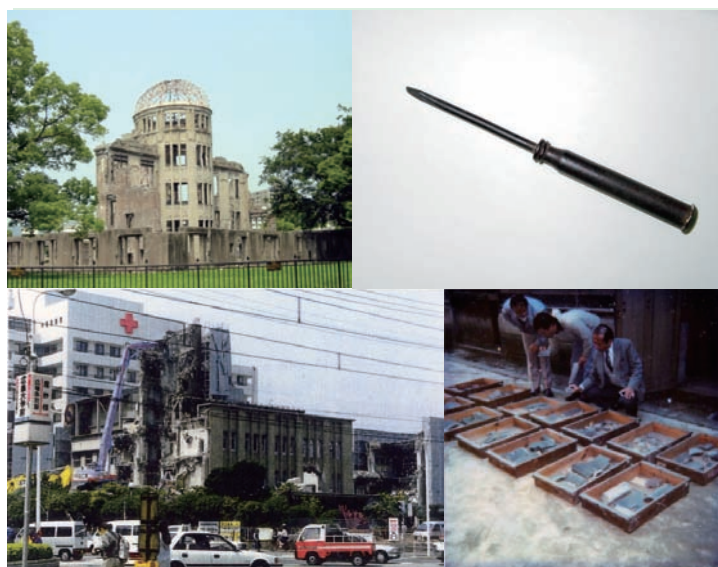
広島・長崎の被爆資料の収集と原爆放射線の研究

静岡 清 (広島大学特任教授)



\* ギャラリートーク (被爆資料展示 in 総合博物館)

被爆瓦や護国神社の被爆玉石、原爆ドームの銅片・金具など約50点の資料展示



広島大学の研究者が、原爆投下直後から爆心地をはじめ広島市内の放射線について調査を行ない、多くの資料を収集してきました。

本講演会では、これらの資料を受け継ぎ、研究してきた研究者による講演と、ギャラリートークを実施します。

ギャラリートークでは、現在まで引き継がれてきた貴重な資料の数々を特別に公開し、その意義や研究への思いをお話します。

【実施日時】 2013年7月20日(土)

13:30~15:30

【会場】 東広島キャンパス

教育学部L104教室(総合博物館隣)

【共催】 放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

※申し込み不要・入場無料です。

※どなたでも聴講できます。お気軽にご参加下さい。

※本講演会は、5研究科共同セミナーの単位になります。



【お問い合わせ先】 広島大学総合博物館

Tel:082-424-4212 Mail:museum@hiroshima-u.ac.jp

HP:http://home.hiroshima-u.ac.jp/museum/index.html